

コロナ禍の避難って どうなん？ 知らんけど

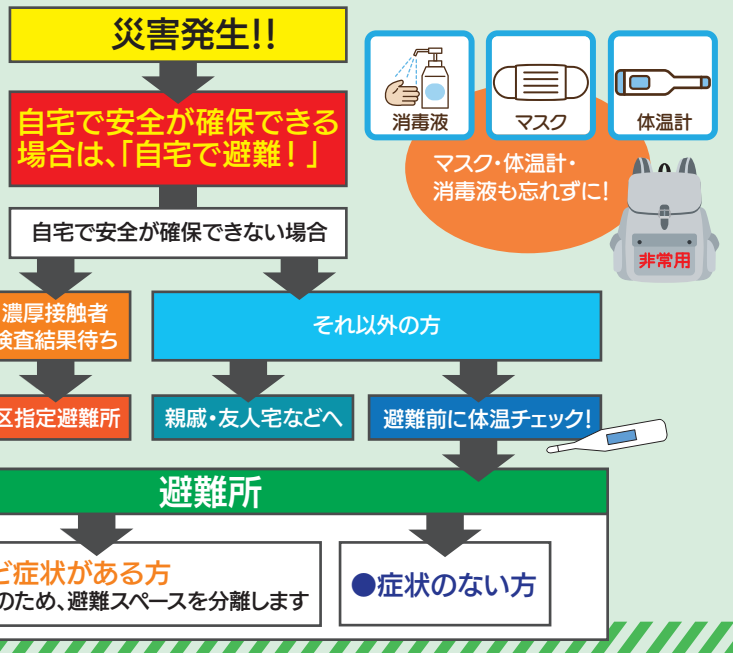
コロナ禍での台風や地震などの災害にそなえ、普段からどのような準備をすればいいのか、いざ災害が起きたときにどこへ避難すればよいのかなど、ご自身や家族を守るためにも、いま必要なことをぜひ知っておきましょう。

問合せ 協働まちづくり推進課 (安全・安心)
☎ 6576-9881 FAX 6572-9512

コロナ禍 避難フロー

コロナこわいけど、なんかあったら避難所行ったらええの？かとゆうて避難所もぎょうさんあつまるやろうしなあ。

新型コロナウイルス感染症の流行が収まっていない中、自宅での安全確保が可能な人は、感染リスクを負ってまで災害時避難所(小学校等)へ行く必要はありません。「自宅等で避難」を検討してみましょう。



自宅でも避難も、できるかもしれませんよ。

港区役所防災担当
こにしさん

南海トラフ巨大地震で津波が発生した時は、港区に**114分**で津波が来ます。まずは、頑丈な建物の**3階以上**へ避難してください。

避難行動の判定フロー

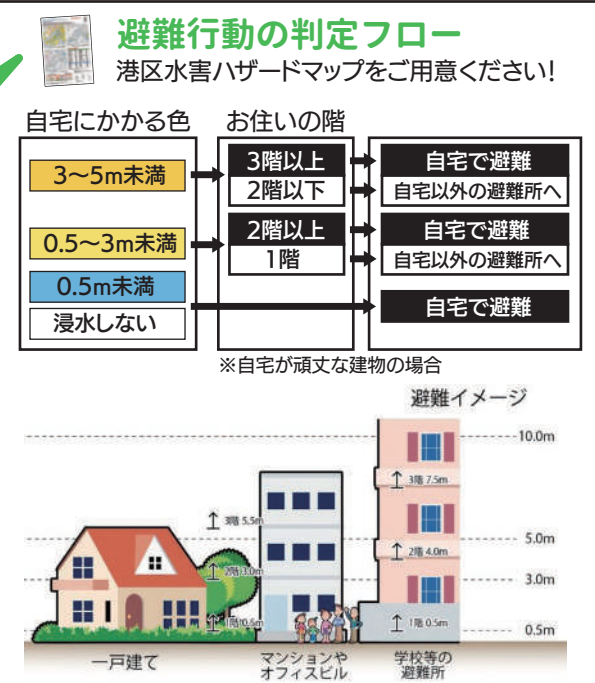
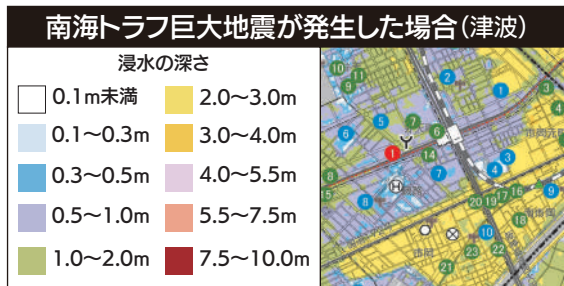
津波きたら、うち水に浸かるんちゃうん？溺れたらどうすんの!?

あらら、うちマンションの2階やけど、3mまでやったら自宅で避難もできるんやねえ。

「港区水害ハザードマップ」の自宅付近の浸水深さとご自宅の状況を合わせてみた時の「自宅で避難」が可能な目安です。

港区水害ハザードマップ

南海トラフ巨大地震などが起きた際の津波や、内水氾濫した時の港区における浸水の深さを知ることができます。自宅付近の浸水想定について知っておきましょう。詳細はこちら



自分のおうちがどれほど津波で浸かるのか調べる事ができます。港区の水害ハザードマップで調べてみましょう。

港区役所防災担当
こにしさん

色分けで見れるので、いい目安になりますよ。マンション等なら2階建てでも大丈夫な場合もありますよ。

自宅で避難の検討と、家族の避難ルールを話し合ひましょう。

コロナ禍では感染リスクを避けるために災害時避難所(小学校等)以外に、自宅や親戚・知人宅、宿泊施設等への避難もご検討ください。また家族の集合時間や連絡先、災害時備蓄などは話し合っておきましょう。



コロナ禍の災害時備蓄など、もっと詳しく知りたい方は港区役所ホームページまで



津波避難ビル

津波避難ビルは津波や河川氾濫から身を守るために少しでも早く「高い」場所(建物の3階相当)に避難するため学校や市営住宅や公共施設、また協力頂ける民間施設を対象に港区の各所に確保しています。



詳細はこちら

家の近くの津波避難ビルの場所や、避難生活も考えて備蓄物資なんかも家族で話し合っておきましょう。



港区役所防災担当
こにしさん

おおきに！おとうちゃんと子どもらと、いっかい避難とか災害備蓄とかについて話してみるわあ。

